



シャープ社友会  
広島支部会報  
ひびき第45号

主要記事

4  
3  
2  
1  
面  
面  
面  
面  
H  
O  
W  
D  
O  
Y  
O  
U  
D  
O

役員会だより  
春夏秋冬  
地区担当委員報告  
新春年賀会お知らせ

12  
10  
10  
9  
面  
面  
面  
面

編集後記  
社友短針  
新入会員のご紹介

寄稿 南ア旅行記  
今井省吾さん 優秀賞受賞

秋季旅行

「瀬戸の日の出」尾道市(因島)  
(写そう会) 廣兼 惟央さん

2008年 新春年賀会のお知らせ

広島支部 新春年賀会は昨年同様、通信システム事業本部の会場をお借りし、社友会本部と全支部を全国ネットで結び、下記の要領にて同時開催いたします。

日時：平成20年1月22日(火) 10:30~14:00  
会場：シャープ(株)通信システム事業本部 センタービル2階 多目的ホール  
次第：本部・新春年賀会(TV会議システムで中継)

第一部  
10:50~11:30 ごあいさつ 社友会本部 蛇草 会長  
シャープ㈱ 町田 会長  
基本方針 シャープ㈱ 片山 社長  
11:30~11:45 休憩 (広島支部はストレッチ体操予定)

第二部  
11:50~12:10 シャープ(株) 出席者役員ご紹介  
ごあいさつ シャープ㈱ 辻 相談役  
乾杯  
12:10~12:25 広島支部新春年賀会参加者の記念撮影・休憩  
12:30~14:00 広島支部新春年賀会(社友会・紅葉会合同)

会費： ¥1,500.-

ご連絡事項

当日は10:00より受付致します。(10:30までにご着席ください)  
社友会々員の方はバッジ、名札を着用ください。  
駐車場は通信システム事業本部です。係員の指示に従ってください。



# 『気付いた所から始めよう 地球温暖化防止』

広島支部長 吉久 清春

新年明けましておめでとございます。

ご家族お揃いで新春を迎えられた事と心からお祝い申し上げます。

平素は社友会広島支部の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年は、参議院選で野党が勝ちそれ以降、ねじれ国会となり不安定な政局が続いています。

正月を越えた国会運営で纏まるのでしょうか。国民の為になる政策審議を早くして欲しいものです。

社会情勢は収賄事件、殺人、自殺、偽装等の暗いニュースで年を越ししました。

今年こそ人にやさしい社会環境であってほしいものです。政界も人の立場に立って国民を引っ張って行く、考える政党集団であって欲しいものです。

社友会広島支部も十二月で二七〇名の大世帯となり、栃木支部を上回りました。また、同好会も十二を数え幹事の指導で活発な活動がされています。

ホームページも充実し、予定表、各同好会の活動など、タイピングよく掲載されています。

地域会員も81名という状況で地区委員の働きで活発になってきました。メンバーが増えるに従い横の連携が取れる体制が出来つつあります。

今後、地方勤務のサービス、営業の方達への誘いをキメ細かく行なっていきたいと思えます。

一月二十二日に第2回の社友会全国会同の新春年賀会が行われます。日頃会えないメンバーに会える良い機会です参加をお願いします。

年初に当たり今年やらねばならないテーマを設定します。ご賛同いただける方は実践ください。

昨今の気候は何が変だと思いませんか地球温暖化で世界の各地で大変な事が起っています。不安定気象、突風、大規模台風、大洪水、何れを見ても過去と規模が異なり、大きな災害が発生しています。地球の何が狂って来たのでしょうか？

我々の周りにもその影響がじわじわと忍び寄って来ています。我々一人一人が意識してこの温暖化を阻止すべく取り組む必要があります。

我々が取り組む事が出来る身近なテーマとして大きく4つに分けます。

- 1 省エネ家電（冷蔵庫、洗濯機、エアコン、テレビ）
- 2 省エネ生活（洗濯、掃除、お風呂、買物、調理、トイレ）
- 3 省エネ自動車（運転、低公害、ハイブリッド車）
- 4 コミ問題とリサイクル。

私達の普段の生活を見直し、温暖化の原因となっているCO2の排出を減らす為にどのように取り込めばよいか提案します。

### ◆省エネ家電

- ・冷房の温度は1℃高く、暖房は1℃低く設定する。
- ・こまめに家電製品の主電源を切る（又はコンセントから抜く）、買い替えの時はEcoマーク付きを選ぶ。
- ・照明器具の検討、白熱球から蛍光灯に替える。但し階段などの短時間照明は白熱球が良い。蛍光灯は立上がり

に電力を使います。高反射板を取り付ける。費用がかかりますが家庭ソーラー発電を検討しよう。あまった電気は電力会社に売ります。

### ◆省エネ生活

- ・お風呂には家族が連続して入ります。シャワーを各自一回1分短縮する。
- ・残り水は洗濯、庭の水やり等を使う。
- ・洗顔、洗髪、歯磨き中の水の垂れ流しをやめる。トイレトペーパーの使用を1割削減。
- ・ジャー、ポットの保温は利用時間が長いので多くの電力を使うので、食べる分量だけ炊き、再加熱には電子レンジを使う。

家族は同じ部屋で団らんし、光熱を有効に使う。

テレビ、ラジオは付けっぱなしになっていませんか？情報はほしいものだけにしましょう。一日1時間減します。旬の食材で食生活をする。夏にきゅうりとトマトのサラダ、冬にはキャベツと大根、水菜のサラダ。旬の食材は栄養価も高く価格は安い。

冷蔵庫の使い方。食品を詰め込まない。常温保存は入れない。扉の開閉は最低限、短時間で行う。透明容器などで見分け、取り出しがすぐに出来る様にする。

### ◆省エネ自動車

- ・自動車の運転を週2日減らす。必要なのは徒歩、自転車、公共交通機関を利用。健康にも良い。
- ・駐車場でエンジンを止める。適正空気圧にする。小型車、ハイブリッド車に乗り換え。

### ◆ゴミ問題リサイクル

買い物には買物袋を持参、省包装の物を選ぶ。トレーやラッピングは家ではごみとなります。リサイクル商品を選び、詰め替え出来るものを使用する。

以上「気付いた所から始めよう」への取り組みを皆さんと実践していきたいと思えます。

最後に仕事を終えたシニアのみならず、地域活動、社友会活動に参加するのも生き方の一つです。これからの担い手として皆さんのパワーが必要です。前向きに参加しませんか。今年も元気で素晴らしい一年でありますようお祈り申し上げます。

### ご参考

「みんなで止めよう温暖化」を見てください。このURLは左記の通りです。

<http://www.team-6.jp/>



## 役員会だより

代表幹事 山口 春香

対象期間：2007年10月～2007年12月

## 2007年12月12日 会社幹部との懇談会

社友会広島支部では毎年10月に社友会広島支部及び紅葉会合同の役員会の席に通信システム事業本部の幹部をお招きし、懇談会を実施しています。

今年は新井副本部長にご出席頂き、通信事業、その中でも携帯電話等の健闘で当社の企業イメージは大幅にアップ、他社から一目置かれ、業界でも無視出来ない大きな存在に成長した事等、力強い話を聞く事が出来

ました。企業の盛衰が激しい中で我々が勤め上げた会社が社会に評価される事はOBIにとっても誇らしい事ではありませんか！

懇談会での  
新井副本部長



## 秋の親睦旅行

実施日：2007年11月14日(水)～15日(木)1泊2日

今年は一泊では距離的にちょっと難しいのでは？と言う懸念もありましたが世界遺産の白川郷、飛騨高山への旅行となりました。参加者はご夫婦での参加も含め合計41名、皆さん疲れも見せず、楽しく思い出深い旅行となったものと思います。・・・幹事さんご苦勞様でした。

2008年度は、既に一泊でいける観光地は行きつきた、という意見も多い事から、沖縄・北海道も視野に入れて、場合によって2泊での親睦旅行も検討したいと考えています。

※ 社友会々員数 11月19日現在 3527名  
本部；2,373名 東京；531名 広島；266名  
栃木；266名 九州；91名

## ※ 新春年賀会

昨年に引き続き本年も会社のご協力のもと、社友会本部の年賀会(佐伯最高顧問、辻相談役、町田会長、片山社長ご出席予定)が全支部にテレビ放映される事になりました。

昨年は社長交代、更に7月31日には最先端の液晶パネル工場、太陽電池工場及び関連企業工場を結集した“シャープ『21世紀型コンビナート』を展開”等大きな計画が発表されました。

経営トップのご挨拶、新社長のご挨拶を楽しく拜聴したいと思っています。

本部のテレビ放映後、広島支部の年賀会に移りますが、ここでは昨年と同様、ビンゴゲーム他、多彩な催しが予定されていますので皆さん奮って参加頂きます様ご案内いたします。

## 地区担当委員報告

企画担当幹事(地区委員担当) 山根行雄

地区委員制度発足2年半が経過、地区会員数も平成19年11月末現在：83名の大所帯になりました。

(広島37名、福山10名、山口地区8名、山陰地区8名、岡山地区10名、四国地区10名) 今後も団塊世代のリタイアにより、更に増加することが予想されます。

これに合わせ、地区会員相互の親睦や健康増進など、情報交換をスムーズにすることが大切で、各地区では次の様な年間行事を開催するなど、会員の輪を広げる取組みをしております。

【山陰地区】米子で山陰地区会が、昨年度より毎年春に1回開催となり、本年4月には、地元のシャープ米子㈱の「工場見学会」を実施しました。

【山口地区】広島地区メンバ-と大島(文殊山)柳井(琴石山)交流登山を実施。平成20年には、地区委員(松田さん)のお世話で地区交流活動の一環として、広島支部「あるこう会」とのドッキングにて、周南市の須金農園(松田観光農園)での「ぶどう、梨狩り」を計画。

【広島地区】社友会の世話人会で、毎年12月に「ゆうゆう会懇親の集い」(広島シャープビル長年勤務の営業関係OB会)を実施。本年も12月9日 広島のホテルにて、「第4回 ゆうゆう会・懇親の集い」を49名参加で盛大に開催。広島支部からは吉久支部長が出席。ご挨拶の中で支部の活動状況など説明頂き「ゆうゆう会」との良き橋渡しが出来ました。

【岡山地区】岡山シャ-プOBが社友会員と非社友会員合

同で、年3回ゴルフ・コンペ開催。また「忘年岡山シャープOB会」を開き(18名参加)過去の思い出や現況等を語り旧交を温めています。本年も12月開催予定。

【四国地区】地区OB有志の呼びかけで、平成19年10月29日、高松のホテルにて「設備OB懇親会」を14名参加で開催。今後、四国4県下在住の会員のネットワーク構築のため、高松市在住の地区委員中心に、連絡会開催の呼びかけを行う。また、広範囲のため委員補佐候補を1名選んで頂き、スムーズな運営体制作りを進める。四国地区会員の皆様、ご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

平成20年度も引き続き、社友会・企画担当として、各地区委員のメンバ-の皆さんと連携を取りながら、地方の社友会員の輪が広がる様に努めて参ります。今後とも会員の皆様のご支援とご協力を賜ります様お願い申し上げます。



第4回ゆうゆう会・懇親会(広島JALシティホテル)



写そう会

発足4年目、今年も元気で  
写真を楽しみ、技術力の  
向上を目指します  
谷水 毅

明けましておめでとございます。  
お蔭様で写そう会が発足して、早くも  
4年目を迎えました。  
今年も昨年に引き続き、皆で写真を楽し  
みながら、各々の会員が自らのペースで  
作品作りと写真技術力向上を目指す会と  
なる様、頑張ってください。

昨年10月は北広島町の掛頭山に登り、  
念願の「雲海」の撮影に挑戦しました。  
この季節は山間部等で放射冷却により霧  
が広域に発生する自然現象「雲海」が撮  
れる時期だけに大いに期待しましたが  
残念ながら当日の掛頭山は朝日も拜めず  
小規模な雲海の発生に止まりました。  
然しながら、写真撮影心得の一つに納  
得出来る写真を撮る為には、同じ場所へ  
「最低5回」は足を運ぶ必要があると言  
われています。会員の中には此れに懲り  
ず、「山間の雲海」「瀬戸内の海霧」の  
撮影に幾度も通って執念の力作が撮れた  
人もいます。



北広島町「掛頭山」雲海撮影会にて

11月の紅葉撮影会では、安芸の宮島を  
訪ねて随分、人間馴れした鹿と紅葉を組  
み合わせてカメラに収めました。撮影  
ポイントには沢山の紅葉狩り見物で人の  
山。昨年は猛暑と少雨の影響が、紅葉  
の色づきも今ひとつといったところでし  
た。



安芸の宮島での紅葉撮影会にて

12月は、一年の最後の月例会となる事  
から、「花と歴史と映画の島」で有名な  
笠岡の古い漁師町「真鍋島」に渡り、親  
睦会と撮影会を兼ねた一泊撮影会を行  
いました。

生憎、2日とも天候に恵まれず、期待  
した「島のお婆ちゃん猫」を題材とし  
た写真を撮るチャンスが少なかったもの  
の、親睦会では、80センチを超えるヒラ  
メの生き造りを筆頭に蟹、海老、牡蠣、  
ナマコ等、続々出てくる瀬戸内の海鮮料  
理に舌鼓。終始、写真談義に花が咲き、  
一年間の同好会活動の回顧と反省を行  
う中で、来年度の活動に向けて意見交換を  
行い親睦会も大いに盛り上がりました。  
恒例の広島支部新春年賀会では、今年  
も昨年に引き続き「写そう会作品展」を  
計画し、一年間の活動の成果を会場の皆



笠岡真鍋島撮影会 本浦港にて

さんにご披露する予定です。又、昨年  
も引き続き数多くの会員が写真コンテス  
ト(原美展、市美展、二科展、県内フォ  
トコンテスト)に入賞し、会員の写真技  
術力の向上が目立った一年でした。  
昨年の受賞者は以下の方々です。(50音  
順 敬称略)

- 入賞作品は、写そう会のホームページ  
「コンテスト入賞作品」で紹介していま  
すので、是非ご覧ください。
- ◎ 全日写真広島「秋の撮影会写真コンテ  
スト」(入選) 西尾 弘、西尾紀美子
- ◎ 県美術展(入選) 今井省吾
- ◎ 二科展全国(入選) 佐藤武文
- ◎ 広島二科展(入選) 谷水 毅

- ◎ 東広島市美術展(入選) 今井省吾、  
佐藤武文、谷水 毅、辻 重樹、  
吉岡嘉之
  - ◎ 東広島酒まつり写真コンテスト(入選)  
辻 重樹、西尾 弘
- 現在、ラポール広島島の食堂を利用した  
フォトギャラリーコーナーでは、会員に  
よる季節の作品を随時掲示、寮生の皆さ  
んからも大変好評を戴いています。  
社友会室に向かかれた際は、少し足を  
延ばして是非、作品を鑑賞してください。

グラウンド  
ゴルフ

打ち収め

河上 國男

早いもので今年も打ち収めの日を迎え  
ることになった。

年長の新田さんも元気にスタートされ  
一回りした後、打順を一つずらして二回  
目を廻りはじめた所で、廣兼さんが『止  
まり』を出され、みんなから『もういつ  
帰ってもいいよ』と云われ(同好会メン  
バー間で一日に1回は「止まり」を出  
したいとの暗黙の目標がある)ホっとし  
た一瞬が流れた。

その後ワイワイしゃべりながらのプ  
レーが続ぎ、休憩ではそれぞれの近況や  
世間で話題になっていることに、各自の  
主張やらぼやきを交わした。

年明けの活動は1月25日午後2時から  
と決めて、後半のスタートをきりまし  
た。しばらく廻った後、最近、地域で  
のグラウンドゴルフでも活動されている  
小幡さんが『止まり』をだされ年内の打  
ち収めとしました。

前回のひびきに掲載できませんでした  
が10月に開催した河内パークゴルフの成  
績は優勝山口さん、二位水谷さんでし  
た。



水谷さん  
廣兼さん  
山口さん  
河上さん



囲碁将棋

世間話で  
お得な情報があるかも

山口 春香

広島支部の皆さん、明けましておめでとうございます。

早いもので私が囲碁、将棋同好会のお世話をさせて頂く様になって、五回目の正月を迎える事になりました。その間休みなく定例活動は進めて参りましたが、残念ながら腕前の方はさっぱり進歩がないまま今ひとつ。

そんな中、先の十二月のお手合わせでは囲碁対決が賑わいました。

私は何時もの様に先ずは相馬さんに敗退、その後おもむろに杉山さんが登場して相馬さんと対局、途中杉山さんが非常に困ったような、考え込むような様子をされていたところまでは見ていたのですが、結果の程は書かないことにしました。

かたやでは河上さんと弓井さんが対局、弓井さんは近年ゴルフの調子がすごく良いと言う事で、その勢いで前回から囲碁の方にも顔を出してくれています。河上さんとは初の対決！お互いに相手の顔色を伺いながらの一戦となりました。勿論、相変わらず将棋もやっていま



奥：相馬さんVS杉山さん  
手前：河上さんVS弓井さん

ボウリング

(第36回)10月大会  
川田芙美子さん優勝  
牛田 晴雄

10月13日(土)開催の10月大会は、例年なら爽やかな秋満喫の季節ですが、当日は残暑のせい、秋はまだ少し先だなと感じた。車で自宅を出発、途中、外気温23度を確認し会場の賀茂ホールに到着。会員におはようございます、頑張ろうと爽やかに挨拶会場に入った。

ボウリング同好会も益々盛況、元気ハツタツ活動出来ることに、会員一同感謝し第36回大会を開催致しました。

今回は27名(社友会16名、紅葉会3名、招待会員8名)の参加者で競技が大いに盛り上がった。

また、ハンデイヤップゼロの実力者、喜田栄禧さん・村上孝一さんの参加で、競技はハンデイヤップ付3ゲームトータルで開始。中間1ゲーム時点の成績を確認すると、喜田さんがノーミス達成し高得点の218点、最終の3ゲーム目の成績に関心が寄せられた。

成績結果は番狂わせか(これは失言、ごめん)川田芙美子さんが合計628点の高得点で優勝された。準優勝は西尾弘さん、第3位牛田峰子さんが優秀な成績で勝ち取られた。

今大会のハイゲーム賞(HDCP含む)は(男子の部)小西順三さん220点。(女子の部)川田芙美子さん243点。またノーミス賞は喜田栄禧さん・村上孝一さんが手中に収め日頃の練習成果を披露された。

上位6位までの成績(敬称略)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1位 川田芙美子 628点 | 4位 村上 孝一 567点 |
| 2位 西尾 弘 579点  | 5位 小西 順三 552点 |
| 3位 牛田 峰子 568点 | 6位 和田 清子 551点 |



ダンススポーツ

今年も

新しいステップに挑戦  
江頭 敏晴

今年も早やダンスパーティーの時期になり、今回も瀬野のダンスサークルのパーティーに合流させてもらい会員九名が参加。軽い会食と共に、大いに楽しいダンスタイムを過ごすことが出来ました。今年更に、別のサークルメンバーも加わり、総勢二十七名で、多くの人たちと交流が出来、大変盛り上がりました。春からはじめられた新入会員の方も他

す。勝負事は負ければ悔しいのですが、それでも楽しいものです。世間話に興じながら時には思いもよらなかったお得な情報があったり！皆さんも囲碁、将棋で楽しいひと時を過ごしませんか！  
毎月第一月曜日、十時半から社友会室でお待ちしています。



瀬野での交流ダンスパーティー

のグループの人たちとも楽しく踊れるほどに成り、楽しいひと時を過ごせました。ホームページの「活動報告」に写真を掲載しています。

さて、今年四月に新しい女子のメンバーが加わり、更に十一月に待望の男子メンバーも入会されて、皆んな生き生きと活動してきました。  
新メンバーに対応すべく、外部からベテランの先生も二名に増えて、新しいステップも習って大変充実してきました。活動の中で、どうしてもラテンが上達せずに、チャチャは未だ未完成、サンバには未だ挑戦すら出来ていないのが現状ですがやる気は満々ですので、来年はラテンを強化したいと思っています。  
激しい動きのダンスではありませんが、冬でも汗をかく程、動きまわりますので中高年者には、適度の運動で、健康維持に役立っています。  
「私もやってみよう」と、ご希望のある方は、年中受け付けていますので、今年こそ思い切ってやってみられては如何でしょうか。



あるこう会

・深まる秋を追い求め、紅葉の里山でウォーク&弁当を楽しむ！

森本康夫

明けましておめでとう御座います。昨年は海に、山に、川に、湖に、時には街並み、と多彩なプログラムに愉快な仲間と元気に参加できて本当に良かったと思います。

そして、この一年事故もなく無事に活動計画を達成できたのも、リーダーを中心にサブリリーダーの方々の事前の現地調査を始め、周到な準備のお陰と心から感謝致しております。本年もチームワークを大切に元気にウォーキングを楽しみたいと思います。皆さん一緒に頑張りましょう。

11月3日(土)紅葉ウォーク第一弾、三段峡コース

秋晴れのウォーク日和、目標は三段峡三段滝、少々厳しいらしいが頑張ろう。あるこう会23名は5台の車に分乗、定刻9時に東広島市役所を出発、志和ICから山陽自動車道を経て、10時過ぎに中国自動車道戸河内ICに到着、ここで山歩会広島組6名と合流、合計29名の参加者が揃った。「道の駅 来夢とごうち」で昼食の弁当を調達後、三段峡の玄関口「いこいの村 ひろしま」をめざして国道191を北上。11時過ぎに到着した。駐車場を企画担当の山根氏から本日のコース説明を聞いた後、深入山の登山口でもある「いこいの村」の入り口で、真っ赤に色づいた高尾紅葉をバックに記念撮影、そして三段峡入り口へ、水梨駐車場を経て葦が原「茶屋」に到着、山根氏の指導のもとストレッチ体操、そしていよいよ



高尾の紅葉をバックに記念写真 (三段峡コース)

出発、アップダウンの険しい渓谷沿いの細い道を三段滝目指して黙々とウォーキング、予想通り祝日のため人も多く、帰途のウォーカーとたびたび道を譲り合いながら進んで行った、途中中小休憩を取りながら約40分で三段滝に全員無事到着。約30mの落差を三段に分かれて落ちる美しい滝と背景の紅葉との風景にしばし呆然。皆さん写真撮りまくり、記念写真を撮った後、近くの川原で弁当をひろげ楽しい昼食、三宮さん差し入れの「温かいスープ」で思わず乾杯！食後はしばしの談笑を楽しんだ後帰路についた。厳しい残暑のせい今年の紅葉は少し薄いように思われる、しかし、山の彩り、谷の水面を流れる赤や黄の色模様に大いに満足。午後3時に「いこいの村」で現地解散、広島組とはここで別れ。東広島組の有志8名は深入山登山、時間の関係で8号目まで、他のメンバーは「いこいの村」で美味しいコーヒーを楽しみゆったりとした時間を過ごした。午後4時過ぎ全員揃ったところで帰路に着き東広島市役所には午後6時前に無事到着、皆さんお疲れ様でした。



「二郎の滝」前での記念写真

・11月17日(土)紅葉ウォーク第二弾、三郎の滝コース  
春はツツジ、夏は日本一のウォータースライダー、秋は紅葉、冬は水墨画の風景と、年間を通じて自然を満喫できる近場の憩いの場所、今回は紅葉をもとめ、あるこう会33名プラス小学1年生2名、合計35名は7台の車に分乗、定刻9時に東広島市役所を出発、西条ICから山陽自動車道を三原久井まで走り一般道へ、途中「道の駅 クロスロードみつぎ」で恒例のシヨッピングタイムと弁当調達、なかなか盛況な道の駅で皆さん思いのシヨッピングを楽しんだ。再び三郎の滝へ、約15分で「三郎の滝 駐車場」に到着、目映いばかりの秋模様、そんな中をウォーキングスタート、滝の手前の里山コースを一旦下り、Uターンして一気に滝まで上る3kmコース、さすが上りは厳しく長い列となる。

やっと三郎の滝の上流で小休憩、特別会員の萌衣ちゃん、芽衣ちゃんもよく頑張りました。再び一郎の滝まで下り、滝壺前の石畳でお待ちかねの昼食を楽しんだ。三宮さん差し入れの、おにぎり、酢の物、温かい甘酒、最高でした。いつも有難う。  
昼食後、紅葉の美しい二郎の滝の前で記念写真撮影。滝壺にはアヒルやカエルが遊び、鱒の釣堀あり、レストランもあり家族で楽しめる所です。帰路御調八幡宮に参拝して紅葉を楽しんだ。特に午後の西日に映える紅葉の美しさは格別でした。午後3時過ぎ全員無事東広島市役所に到着、皆さんお疲れ様でした。

・12月1日(土)紅葉ウォーク第三弾、君田温泉忘年会コース

今日の予定はウォークと君田発電所見学、そしてお楽しみ恒例の忘年会、8時45分第三工場から東広島市役所経由で君田温泉へ、今回はバスの送迎付き、あるこう会31名プラス小学1年生2名の33名はバスに乗り込みいざ出発。  
早速車内は賑やかな旅行ムード、しかし外はぽつぽつ雨模様、三次に近づくにつれ雨は本格的、止むを得ずウォーキングを中止し直接「君田発電所」へ。  
中国電力三次電力センターからわざわざ来て頂いた4名の職員に案内して頂いた。  
冒頭、藤本副長から昭和16年操業開始と聞き、我々と同年代のため思わずよめき、83mの落差を利用した水力発電は9,600kwの出力を有し、周辺約6000世帯に電力供給しており、現在は無人で広島から遠隔操作とのこと。  
久しぶりの社会見学でした。特別会員の萌衣ちゃん、芽衣ちゃんも熱心に勉強しました。







ゴルフ

実力者の頭角シーズンか？  
冬場のコンディショニング制覇が鍵・・・  
出口 昌孝

会員の皆様「新年あけましておめでとうございます」今年も元気で参加頂きませう様期待致します。

第105回コンペは、例年10月は恒例のツアーコンペ36Hプレイですが、今年もお休みして通常の18Hプレイとして、秋晴れのゴルフ日和で行いました。

会場は、お馴染みのコースとなりました。瀬戸内を眺めながらのプレイで各選手は入賞を狙った意気込みでのスタートでした。

結果は、5アンダーでの優勝で、その優勝者の弁では「ようやくの初優勝で・・・」などと言いつつながら上位3名は優勝を狙ったものと、成績結果から伺えます。

また、入会後3試合目でベストグロス77の新人選手も現れ、全体が技量のレベル

ルアップの現状では、今後のプレイ戦略はハンディキャップを生かした戦法で優勝が左右されるでしょう。

第106回コンペは、平成16年6月以来約3年ぶりの会場でコースイメージはあるもののやや風景も変わった感じだった。しかし、一部の方には例年の地域町民ゴルフ会場でもあった。当日は、予報外の寒気、風もあり寒さが感じられるコンディションも重なってか？シニア勢が低迷でヤング勢の力量発揮と言ったところ。6アンダーを筆頭にアンダーパーが4名、続いては何時もの一打を凌ぐ接戦でした。

中でも前回の覇者が連続優勝を目論んでの特訓の祟りか、極端な変化の成績が印象的でした。今月より、「村重 泰弘さん」の入会もありました。

第107回コンペは、師走も中旬になり寒波到来の予報通りようやく冬らしいこの頃です。当日の天候は、晴天ながら朝はマイナス気温、ティグラントでのティは立たず鉄棒治具を使っていたのありさまでした。

この様なコンディショニングでは陽が上がると共に気温が上がり、曇れば下がり寒くなり、この気温の変化への対応が成績に大きく左右されたのか、コース会場の差はありますが日頃のホームグラウンドさえこの成績でした。

結果は、アンダーに漕ぎ着けた選手が栄冠を手に入れました。これが本来のレベルになるようにハンディを持っていきます。その中から各選手は技量のレベルアップに励み、成果を得た選手の勝利でしょう。

今月からは「山脇 隆さん」の入会もありました。

次回は3月、第108回コンペ今期最終戦で「グラントチャンピオン2007」賞

平成19年度第7戦～第9戦の成績

(NETスコア)

第105回コンペ(18H) (10/12瀬戸内GR)			第106回コンペ(18H) (11/22東映C/C)			第107回コンペ(18H) (12/18安芸C/C)		
順位	参加者	pa	順位	参加者	pa	順位	参加者	pa
1	山本 善	-5	1	桂	-6	1	杉山	-2
2	沖田	-5	2	井谷	-4	2	山内	-1
3	山田(晃)	-4	3	鈴木	-3	3	松本(邦)	+1
4	末沢	-3	4	伊野部	-1	4	伊野部	+1
5	益田	-3	5	猪飼	0	5	山本(博)	+1
6	出口	-2	6	弓井	0	6	車角	+1
7	高見	-1	7	勝山	0	7	松見	+2
8	勝山	-1	8	沖田	+1	8	井谷	+3
9	森本	-1	9	奥村(藤)	+2	9	徳永(文)	+3
10	御船	-1	10	車角	+2	10	河上	+3
11	鈴木	0	11	村上	+2	11	鈴木	+4
12	松見	0	12	松見	+3	12	谷口	+4
13	山口(剛)	+1	13	神野	+3	13	長谷川	+5
14	谷口	+1	14	相馬	+3	14	桂	+5
15	嵐	+2	15	松本(邦)	+4	15	末沢	+5
16	桂	+2	16	谷口	+4	16	森本	+5
17	伊野部	+2	17	鷹瀬	+4	17	村上	+5
18	清田	+4	18	山口(剛)	+5	18	前田	+6
19	山本(博)	+4	19	嵐	+5	19	堀	+6
20	堀	+4	20	杉山	+5	20	山脇	+6
21	山内	+5	21	高見	+5	21	伊藤	+7
22	佃	+5	22	御船	+5	22	沖田	+8
23	伊藤	+6	23	堀	+5	23	勝山	+8
24	新宅	+6	24	小谷	+6	24	明石	+8
25	村上	+6	25	伊藤	+6	25	西尾	+8
26	猪飼	+7	26	末沢	+6	26	岩垣	+9
27	岩垣	+7	27	西尾	+6	27	原田	+10
28	吉田	+8	28	丸山	+8	28	猪飼	+10
29	相馬	+8	29	岩垣	+8	29	弓井	+10
30	佐々木	+8	30	前田	+9	30	吉田	+10
31	杉山	+9	31	河上	+9	31	嵐	+11
32	明石	+9	32	井上	+10	32	湯浅	+11
33	牛田	+10	33	山田(晃)	+11	33	細田	+11
34	西尾	+10	34	山本(博)	+11	34	山口(香)	+12
35	弓井	+11	35	山口(香)	+12	35	出口	+15
36	山口(香)	+12	36	出口	+13	36	中西	+15
37	原田	+12	37	原	+14	37	田井	+16
38	奥村(藤)	+13	38	村重	+14	38	奥村(藤)	+19
39	田井	+15	39	清田	+15	39	相馬	+26
40	徳永(文)	+18	40	田井	+17	40	佐々木	+30
			41	佐々木	+19			
			42	山本(善)	+26			
	OUT/ N		OUT/ N		OUT/ N			
	松見 / 山内		沖田 / 鈴木		井谷 / 山内			
N.P	佐々木 / 沖田	N.P	山本(善) / 伊野部	N.P	末沢 / 山内			
	嵐 / 山内		松見 / 杉山		沖田 / 桂			
	杉谷 / 伊藤		前田 / 山口(剛)		杉山 / 吉田			

も兼ねたプレイまで行事はお休みし、自主トレ期間とし、その成果に期待します。

写真は入賞者の皆さん



(105回) 山田さん 山本さん 沖田さん



(106回) 井谷さん 桂さん 鈴木さん



(107回) 山内さん 杉山さん 松本さん



2007年秋季旅行  
ちよつと遠出の世界遺産白川郷・飛驒高山

今回は11月14、15日一泊で「世界遺産の白川郷と飛驒高山&郡上八幡散策の旅」をテーマに精力的に巡りました。  
参加者は41名、バスは朝七時に八本松を出発、目指すは岐阜県それも富山・石川県境近くまで、ひたすら走る。  
かなり遠いが、ほとんど高速道路で渋滞もなく快適。午後3時すぎ白川郷到着。

白川郷は合掌作りの村、その一軒(国重文)和田家を見学。3階建てでも釘は使わず柱を縄、つるで組む。一、二階は住居、3階は当時一番大事な「おかいこさん」用の部屋だった。



背景は国指定重要文化財合掌造り「和田家」



飛驒高山温泉へ移動、宿泊は高山グリーンホテル天領閣 19時から宴会。

支部長挨拶  
「旅行の直前で人数が変わったが、企画担当が良くカバーしてくれました」



乾杯は新会員の発声。食事中はみんな静か「これ飛驒牛？」が時折聞こえて来た。

カラオケ大会の司会は企画担当の田井幹事。トップバッターも俺がやらねば！の心意気で「北の旅人」を唄う。さすが！あとは世代相応の曲が続いた。



里見誠次郎一座  
今年は大道具を東広島から持込む熱の入れば、支部会員3名も芸名を買っての飛び入り出演。  
出し物はご存知「瞼の母」チャンバラと笑いから涙へと盛り上げる。特筆すべきは母親役の市川照子。忠太郎(座長)との再会シーンでは迫真の演技を見せ、観るものを感動させた。本人も「演じている内に感情が高まり、自然に涙が出るなど役に成りきっていた」とのこと。お見事でした。

この後はビンゴゲームを楽しんでお開き。



乱れ飛ぶおひねり

2日目 飛驒高山・町並み散策  
高山の朝市。野菜、漬物、木彫り細工

などの露天が軒を連ねる。するめもあった。昔、北前船で「イカ」を運んで来て、高山に着いた頃には「するめ」だったとか。そんな冗談も出ていた。

高山陣屋  
国史跡だけに見ごたえがあった。15分程度で回れると聞き入ったが、ガイドさんの上手な説明に約40分も付き合ひ、集合時間が気になって一部、見残すほど。



飛驒高山 宮川の朝市

郡上八幡博覧館は展示物に加え、郡上踊りを解説つきで見せてくれる。  
踊りは10種類ほどあるが「かわさき」(郡上のナハ幡出てゆく時は・・・)は初心者も踊りの輪に加わり易いが「高度な踊りになると上下の動作もあり、間違うと目立ちます」とにこやかに一言。



郡上踊り

バスは帰日も順調に走り、午後8時頃に無事シャープ第3工場に到着、それぞれの手土産を掲げて家路へ。  
運転手さん、ガイドさん、添乗員さん有難う。みなさんお疲れ様でした。



2007年10月下旬に夫婦で南部アフリカ4ヶ国(ジンバブエ、ボツアナ、ザンビア、南アフリカ)を訪れる旅に参加。成田発・香港経由でヨハネスブルグ(南アフリカ)に飛び、ここからビクトリアホールズ(ジンバブエ)とケープタウン(南アフリカ)の2つの都市を旅行の基地として、野生動物との出会いと自然景観を満喫する旅でした。



今回の旅行の目的の1つは野生動物との出会いであり、ボツアナのチョベ国立公園でのサファリツアーと南アフリカのケープタウンでのオットセイとペンギンの観察は、動物園では見られない感動を味わいました。

水上、陸上よりのサファリツアーでは象、河馬、水牛、ワニ、ライオン、ヒョウ、キリン、インパラ、猪、各種水鳥他、いろいろな種類の動物を檻を隔てず観察できたことに大変興奮しました。



アフリカ チョベ国立公園(ボツアナ)

10月は乾季のため動物達は1日に1回は川へ水を飲みに来ること、ブッシュが葉を落とし見通しが良く動物を見つけやすくしていた。ガイドの話ではヒョウ、キリンはなかなか見られないとの事なのでラッキーでした。

ただ残念なことはピクファイブ(象、ライオン、ヒョウ、水牛、サイ)の一つであるサイが見られなかったことです。

2つ目の自然景観はジンバブエとザンビア国境にあるビクトリアの滝、南アフリカのケープタウンにあるテーブルマウンテンと喜望峰並びに首都プレトリアのジャカラダの花です。

今回の観光内容は参加者により、どれを目玉とするかはいろいろとあると思いますが、私たちは「ビクトリアの滝」と「ジャカラダの花」でした。

今回の旅行日程を10月下旬にしたのは、ジャカラダの花がこの時期しか見られないためです。しかしこの時期は乾季でビクトリアの滝の水量が少なく、壮大な迫力には若干欠けますが、やむない選択でした。

このジャカラダの花は南アメリカ産のノーゼンカズラ科に属し、別名キリモトキ(桐擬き)とも呼ばれ、紫色の可憐な花の並木は大変美しいものでした。

1888年にリオデジャネイロより輸入された2本の苗木は、今や7万本以上の街路樹として見事な景観を呈しています。



ジャカラダの花



ジャカラダの街路樹

もう一つはジンバブエとザンビアの国境にある世界遺産の「ビクトリアの滝」です。

ビクトリアの滝はアメリカとカナダの国境にある「ナイアガラの滝(落差57m)」とブラジルとアルゼンチンの国境にある「イグアスの滝(落差80m)」とあわせて、「世界三大瀑布」と言われています。

1855年にリビングストーンが欧米人として初めてこの滝を発見し、時の女王の名前を取り「ビクトリアの滝」と命名しました。この滝は落差が108m 幅は約1.7Kmで、特に雨季には水量が増し、断崖の幅一面が滝となり壮大な景観を呈します。

しかし、乾季とはいえあちこちで轟音をたて流れ落ち、水煙を上げる滝の迫力は素晴らしいものでした。

この滝は主にザンビア側の断崖を流れ落ち、観察は主にジンバブエ側の断崖の上からとなり、また、両断崖が接近しているため川幅が狭く、船で下から眺めるのは困難なこと、更に落差が一番大きい事が他の二つの瀑布に比べての特徴です。



ビクトリアの滝(ザンビア/ジンバブエ)



今から16年前に永年勤続のご褒美で貰った旅行券を旅費の一部として「ナイアガラの滝」を訪れました。この時は三大瀑布のことなど全く頭にありませんでした。しかし退職後に機会を得て「イグアスの滝」を訪れたことで、三大瀑布踏破の夢が芽生えました。



ナイアガラの滝  
1991.8 訪れ

今回「ビクトリアの滝」に行くことが出来て、16年掛け世界三大瀑布を歴訪できたことは大変な喜びです。身体が動く間に更に見聞を広めたいものです。



イグアスの滝  
2004.2月訪れ

今井省吾さん 東広島市美術展・デザイン部門「優秀賞」  
写真部門「入選」のダブル受賞。

今井省吾さんは東広島市教育委員会主催 第20回記念・東広島市美術展のデザイン部門・優秀賞を受賞されました。

作品名：「Clearer than ever」

市美術展の審査評（パンフレットより抜粋）

「デザインの入選作品は8点それぞれ・・・パラエティに富んだ思い思いの創作意欲あふれる作品に目を見張る。優秀賞を受賞された「Clearer than ever」は3つの表現方法の異なるマチエールを巧みに活かし、迫力ある画面を構成している。特に砂状のマチエールに刻まれた「Clearer than ever」のメッセージとペットボトルのラベルまでオリジナルで作成、中に残された水が大きなインパクトを与えられた。」



・同展写真部門入選作品名  
「目覚めの刻」

写真は授賞式にて



山歩会

例会報告

山根 行雄

山歩会は2ヶ月に1回の登山を目指します。その第1回例会を'07年10月17日 絵下山(568m)登山を好天下で実施。参加者は広島地区4名・東広島地区7名。山頂から広島湾や中国山地の素晴らしい大パノラマを満喫致しました。

第2回例会は年末の12月5日、「極楽寺山(693m)」登山を実施。参加者10名

速谷神社よりチャレンジ、山頂近くの極楽寺「展望台」から、広島湾を臨む広島・廿日市市街地や宮島や瀬戸内海の素晴らしい多島美を愉しみ、「アルカディア温泉」入浴、皆さん疲れをすっかり癒すなど、大満足のご様子でした。

本年度は、2月13日「宮島・<sup>みせん</sup>弥山」を新春登山。

4月は「山口名山(柳井)・ツバキで名高い琴石山」を予定。健康増進を兼ね、山野の花木観察や近郊の海・山の素晴らしい景観を楽しみます。『山歩会』に入会、登山にチャレンジしてみませんか。初心者入会大歓迎！です。



絵下山々頂にて



社友短針

丸山紀夫さん(絵手紙同好会)
昨年「第11回筆の里ありがと
うのちよつと大きな絵でがみ大賞」奨励
賞を受賞
この作品展は家族や友人への感謝の気
持ちを絵と言葉に託したもので、広島県
熊野町の筆の里工房で行われ、47都道



「春4強母校球児と校歌聞く」

府県から11、792点もの作品が寄せ
られた中で、厳しい審査を経て昨年に

新入会員のご紹介

平成19年10月1日~12月未まで入会

- 北村 修さん No.3943 シャープエレクトロニクス
マーケティング(株)
川手 理さん No.3948 (電子部品)化半S事業部
実装生産推進部
由井善明さん No.3977 (通信シ事本) 経理部
山脇 隆さん No.3984 (通信シ事本) 販売推進部
高松従昭さん No.3999 SDS移動体SSS
市場品質管理センター
梅田正明さん No.4008 シャープ健康保険組合
広島スポーツセンター
山中洋之さん No.4009 シャープファイナンス(株)
中国統括支店
田中博之さん No.4021 (通信シ事本)
生産革新第1生産部

12月末現在 広島支部会員数 270名



引き続き奨励賞を受賞されました。
丸山さんの作品は、春の高校野球選抜
で母校が甲子園出場を果たし、スタント
で応援した時の感動と、球児に対する感
謝の気持ちを表したものだ。結びのことは
球児諸君に
感動をありがとうと云います。
「春4強母校球児と校歌聞く」

西尾 弘さん
2007年12月のハワイ・ホノルル
マラソン(42.195m)に出場。
記録的にはこれまでの自己最高
六時間六分四十一秒でゴール。
参加回数は今年で四回目。
初出場の時は「完走が目標」だった
が、回を重ねるごとに「タイム更新が
目標」と意欲的に。
普段からスポーツクラブやウォーキン
グなどで体力維持に努めているそうで
す。
「一緒に参加された奥様も完走。
タイムは七時間四十八分四秒で、昨年
のタイムを大幅に更新された由。
さて、2008年大会への出場は？
目下思案中のことでした。」

編集後記
会報によく目を通される方はお気
づきかと思いますが、登場する人物
が少し偏っていると思われませんか？
「同じ人が登場する」と。
これは取材範囲が狭い事もありま
すが、それ以上にその方々を登場さ
せたくなる何かがあるからです。
作品の入賞、自己記録の更新など
違いはありますが、常日頃の努力が
実を結んだものと思われれるからで
す。
そこで、あなたも、この様な喜ば
しい話題があれば、ぜひ皆さんに紹
介されては如何でしょうか。
投稿をお待ちしています。
(S)

- 広島支部行事予定 1~2月
1/7 通シ)本部 基本方針発表会
支部長・副支部長出席
1/22 新春年賀会(役員会)
1/31 ホームページ更新予定
2/22 定例役員会
2/29 ホームページ更新予定